

2017年度 体育学研究科(体育学専攻) 博士前期(修士)課程シラバス

科目名(副題)	開講年次(セメ)	授業形態	単位	担当者名
スポーツ科学研究法ⅠB	1・2年次秋学期 (2・4セメスター)	演習 ※講義含む	2	村瀬 智彦
授業概要				
スポーツ科学の研究における測定手続きを経て統計的手法を利用する研究方法について講義する。特に、平均値の差異の検定から多変量解析まで、仮のデータを用いて実際に分析を試み結果の意味が正しく理解できるよう統計的手法および解析過程についての講義を展開する。				
授業目標(到達目標)				
種々の測定により得られるヒトの形態・機能あるいは競技パフォーマンスなどの測定値に適した統計的手法が理解できるようになる。また、学術論文における統計的手法の適用範囲などについて理解が深まる。				
成績評価方法・基準				
平常点(50%)、理解度確認レポートなどによる評価(30%)、授業への取り組み状況(20%)				
教科書・教材・参考文献 等				
〔教科書〕 指定教科書はない。毎回、要点をパワーポイントで示す。必要に応じて資料を配布する。 〔参考書〕 随時、関連する参考書を講義の中で紹介する。				
授業計画				
	項目・内容			
1	授業計画・授業概要の説明、統計解析の基礎Ⅰ(推測統計、母集団と標本、測定尺度など)			
2	統計解析の実際Ⅰ(平均値と標準偏差などの基本統計量の算出)			
3	統計解析の基礎Ⅱ(帰無仮説と対立仮説、両側検定と片側検定、過誤など)			
4	統計解析の実際Ⅱ(2つの平均値の比較、分散の同質性の検定など)			
5	統計解析の基礎Ⅲ(分散分析や共分散分析の考え方)			
6	統計解析の実際Ⅲ(3つ以上の平均値間の差の検定、多重比較など)			
7	統計解析の基礎Ⅳ(各種相関係数)			
8	統計解析の実際Ⅳ(積率相関係数や偏相関係数の有意性の検定など)			
9	統計解析の基礎Ⅴ(二要因分散分析と回帰分析など)			
10	統計解析の実際Ⅴ(繰り返しのない場合とある場合、回帰に関する検定など)			
11	統計解析の基礎Ⅵ(多変量解析の種類と分析目的)			
12	因子分析法や判別分析法を用いた学術論文の理解			
13	統計解析の基礎Ⅶ(その他の解析法や新しい解析法の解説)			
14	統計的手法の適用範囲・限界・注意事項など			
15	秋学期のまとめ、理解度確認			
履修者へのコメント・学習課題(事前事後学習)				
スポーツ科学研究法ⅠAの受講により、測定評価論の基礎理論について事前に理解を深めておくことが望ましい。授業ではノートパソコンを利用する。基本的な表計算に関するスキルを身に付けておくことが望ましい。				